

## 民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 高岡 宏和

- I 開催年月日 令和 2 年 12 月 14 日（月）  
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 11 時 23 分  
III 出席委員等 [出席委員] ◎角田 悠紀 ○酒井 善広 高瀬 充子  
                                本田 利麻 上田 武 曾田 康司  
                                薮中 一夫 中川加津代 狩野 安郎  
                                (◎…委員長 ○…副委員長)  
                                [説明員] 別紙名簿のとおり（薮下病院長が公務のため欠席）  
                                [委員外議員] なし  
                                [事務局職員] 西本 幸夫 松本 武司 堀田 寛之  
                                [傍聴者] 2 名

### IV 審査の概要

#### 1 付託議案について

- 議案第 131 号 令和 2 年度高岡市一般会計補正予算（第 5 号）  
議案第 132 号 令和 2 年度高岡市国民健康保険事業会計補正予算（第 3 号）  
議案第 134 号 令和 2 年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第 2 号）  
議案第 135 号 令和 2 年度高岡市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 1 号）  
議案第 136 号 令和 2 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 3 号）  
議案第 141 号 高岡市保育所条例の一部を改正する条例  
議案第 158 号 高岡市・氷見市・砺波地域消防組合消防指令事務協議会を設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について  
議案第 159 号 氷見市の消防事務に関する事務の委託に関する協議について  
及び  
議案第 160 号 高岡市牧野地区の火葬業務に関する事務の委託の廃止に関する協議について

以上、予算議案 5 件、条例議案 1 件及びその他議案 3 件の計 9 件について、審査の結果、議案第 131 号のうち本委員会所管分及び議案第 136 号は賛成多数で、議案第 132 号、議案第 134 号から議案第 135 号まで、議案第 141 号及び議案第 158 号から議案第 160 号までの計 7 件は、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 131 号のうち、消防施設整備費について】

- 平米分団器具置場を移転することだが、移転場所をどのように選考したのか。
- △ 現在、本町地内に置場があり、近くの土地が候補として挙がっていたが、間口が狭いなどの理由から、市所有である急患医療センターの駐車場を選定した。
- 場所が急患医療センターの敷地内とのことだが、緊急出動時の初動体制に問題はないのか。
- △ 駐車場から道路に向けて置場を建設するため、出動には影響がないものと考えている。
- 保健センターでは、3 カ月検診など、様々な子育て支援の事業が展開されており、定期検診等がある日には駐車場がいっぱいになることが予想されるが、駐車場の確保は十分に行われる見通しか。
- △ 平米分団器具置場の移転の打ち合わせ時にその点も協議しており、消防分団が利用できるエリアを定め、一般の利用者と重ならないような対策をとりたい。
- △ 消防団員が参集する際の駐車については、分団器具置場の車庫前以外のところで停めることができるスペースを作りたいと考えている。保健センターの利用者に迷惑がかからないよう進めていきたい。
- 分団員の駐車場の確保を計画的に行い、急患医療センターや保健センターを利用する方々に不便が生じないような対策をお願いしたい。(要望)
- 非常備消防費及び消防施設整備費について、財源となる地方債に非常に有利な制度があると聞いているが、内容は。
- △ 非常備消防費では、施設維持管理費において、北般若分団器具置場修繕に防災対策事業債を活用する予定であり、事業費に 75% 充当でき、30% の交付税措置がある。一方、消防施設整備費では、平米分団器具置場移転改築に緊急防災・減災事業債を活用する予定であり、事業費に 100% 充当でき、70% の交付税措置がある。
- 消防分団器具置場の中には老朽化している施設もあると聞いている。災害時には、活動の拠点にもなることから、今後の整備についてどのように考えているのか。
- △ 消防分団器具置場については、経過年数や建物の構造等を勘案し、計画的に修繕あるいは必要なものについては移転・改築を進めていきたいと考えている。

【議案第 131 号のうち、産後ケア事業費について】

- 産後ケアを含め、妊産婦に対して、どのようなケアを行っているのか。
- △ 本市では、妊娠の届け出があった時から全ての妊産婦に保健師が関わりながら、その時々のお悩みに寄り添った対応に努めているところである。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、ビデオ会議システム「Zoom」を利用したオンライン相談の窓口を令和 2 年 6 月から開設し、これまでに 7 名の利用があった。今後とも安心して子育てができるよう、これらの相談や乳幼児健診時の声掛けなど、

きめ細やかな支援に努めていきたい。

【議案第 131 号のうち、新型コロナウイルス感染症高齢者等検査体制整備事業費について】

- 検査費用の補助を拡大し、自己負担を減らすことはできないか。
- △ 高岡市民病院で検査体制を整備し、検査費用を 3 万円で算定しているが、国と市で 2 万円補助するため、残りの 1 万円が個人負担となる。新型コロナウイルス感染症の疑いがある方は、行政検査で対応するが、この事業は、無症状ではあるが、なんらかの事情で不安がある方を対象とするものであり、自由診療の要素が強いため、自己負担が発生することをご理解いただきたい。

【議案第 131 号のうち、急患医療センター管理運営費及び医療型児童発達支援センター費について】

- マイナンバーカードを健康保険証として利用することについて、任意であるマイナンバーカードの取得を強制することになるのではないかと考えるが、見解は。
- △ 市民の利便性を図るものであり、マイナンバーカードの取得を強制するようなことではない。ただし、マイナンバーカードについては、国が様々な利用策を今後考えていくという観点から一人一人が自分で判断することではあるが、マイナンバーカードの普及については進めていくべきと考えている。

【議案第 136 号のうち、医療機械器具及び備品購入事業費及び施設改良事業費について】

- 市民病院における医療費の過誤請求件数は。
- △ 令和 2 年 11 月初旬に診療報酬請求した件数は 8,649 件で、11 月中に審査支払基金や保険者において審査を受け、月末に返戻された件数は 86 件である。返戻とは、提出したレセプトに記載された医療行為や保険資格情報に不備や誤りがあった場合に医療機関に差し戻されるものであり、11 月末の返戻分のうち、資格喪失や記号番号の誤りなど保険資格関係に係る返戻件数は 20 件である。
- 市民病院の職員がマイナンバーカードに関わる機会が増加し、トラブルの発生が予想されるが、見解は。
- △ 患者がマイナンバーカードを機械にかざし、本人確認するものであり、患者はそのまま保管するだけなので、病院職員が改めて見ることはなく、そのようなトラブルの発生は考えていない。
- インターネットトラブルが発生した際に、オンラインが使えなくなることが予想されるが、そのような時に受診ができなくなるなどのトラブルは発生しないか。
- △ 電子カルテとはまったく関連しておらず診療ができなくなるということはない。診療報酬の請求に時間差ができてしまうなどの問題は生じる可能性はあるが、患者への不都合は生じない。
- 市民病院では、過去に委託業者により患者の個人情報が出ることがあったが、その後、委託事業者への指導はどうなっているか。個人情報はしっかりと守られているのか。
- △ 市民病院の個人情報の取扱いについては、紙情報を持ち出したことがあった。こ

れについては、委託業者の社員の自宅内だけでとどまっており、ネット情報などへの流出はなかったことを確認している。その後については、個人情報の持ち出しがないよう指導・監督を徹底している。

- オンライン資格確認を行うことでマイナンバーが医療情報に紐づけられ、さらに危険性が増すのではないか。
- △ オンライン資格確認を行うことにより、マイナンバーが電子カルテの診療情報と紐づけられるということはない。あくまで保険情報をオンラインを使って確認するというものであり、医療情報等がネット上を通じて流出するということはない。
- 利便性は上がるかもしれないが、災害時にはデジタルよりもアナログの手続きのほうが安定的な手段になると思う。電源の確保や情報通信機能の麻痺、自治体サーバーの水没などが生じているが、このような問題をどう捉えているのか。
- △ 市民病院の電源設備については、緊急時に非常電源に即時に切り替わる設備を準備している。また、浸水防止対策として止水板を設置している。

#### 〔討論〕

（議案第 131 号のうち本委員会所管分及び議案第 136 号に反対の立場から）

- 議案第 131 号のうち本委員会所管分について、医療型児童発達支援センター費の施設管理運営費及び救急医療対策費の急患医療センター管理運営費は、マイナンバーカードの健康保険証利用にかかるものであり、マイナンバーカードの紛失やトラブルなどの頻発が懸念され、情報漏洩も想定されることから容認できない。一方、新型コロナウイルス感染症高齢者等検査体制整備事業は、重症化のリスクの高い 65 歳以上の高齢者や基礎疾患のある 60 歳以上の方の不安を解消するものであり、補助の拡大を要望する。

議案第 136 号についても、マイナンバーカードの健康保険証利用にかかるものであり、容認できない。

## 2 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

#### 〔福祉保健部〕

- (1) 第 3 期高岡市地域福祉計画について
- (2) 高岡市障がい者基本計画・第 6 期高岡市障がい者福祉計画・第 2 期高岡市障がい児福祉計画について
- (3) 高岡市高齢者保健福祉計画・第 8 期高岡市介護保険事業計画について

〈 委員から次の質疑があった。 〉

【高岡市高齢者保健福祉計画・第8期高岡市介護保険事業計画について】

- 先般の一般質問で介護保険料の引き上げは止むを得ないとの答弁があったが、再検討できないか。
- △ 介護保険料については、運営協議会で検討いただくことになっている。今後、介護認定者の数が増加し、65歳以上の人口が令和3年度をピークに下がってくことを考慮すると、現行の保険料から引き上げることは止むを得ないものと考えている。
- 「要介護度別認定者数の実績と推移」の中で、2035年の要介護3から5のパーセンテージは。
- △ 人数が5,475人で、割合としては39.1%である。
- 要支援・要介護のピークは2035年であり、要介護3から5の中重度の人数のピークは2040年と推計されているが、それ以降は全体の数が減り、中重度のパーセンテージも減っていくのか。
- △ この推計は2040年までしか行っておらず、その先については、あくまで見込みであるが、2040年には団塊世代が90歳を超える年齢となっており、その世代の人口減が予想される。また、団塊ジュニア世代が前期高齢者である状況を踏まえると、中重度の人数は減り、認定者数も減っていくのではないかと現時点では予測している。
- 認定者数が、2020年には約11,000人、2035年には約14,000人と推計されているが、特別養護老人ホーム等の数は現状のままで十分なのか。
- △ 2035年、2040年を見据えると、サービス利用者は増嵩していくことが見込まれているが、多くの方が施設に入るかどうかはまた別の問題である。アンケート調査などでも、介護が必要になった場合に住みたい場所として約6割の方が在宅を希望している。できるかぎり在宅生活を進めていけるよう地域包括ケアシステムを構築する中で、施設サービス機能を代替するような在宅サービスのメニューを増やしていくことや地域密着型サービスを整備していくということを検討していきたいと考えている。
- 介護保険事業計画において、介護保険事業の財政フレームと事業の整合性をどのように考えているのか。優先度をどこにおいて進めていく考えか。
- △ 介護保険事業計画は、介護の必要な高齢者などを対象とした計画となっており、認定者やサービス利用者の推計を踏まえて、介護サービス給付費の見込みや保険料などを算定していくものとなっている。後期高齢者が増加していく中で、中重度の方が増加し、介護サービス利用も増嵩していく傾向にある。できるかぎり中重度の方に焦点を絞り、そのような方々の対象サービスを整備していくことを検討している。なお、現在、国で介護報酬改定を行っており、12月下旬から1月上旬にかけて示されることになっている。この報酬単価も踏まえ、今後、給付費等の算定を行っていききたい。

【障がい者の8050問題について】

- 知的障がい者や精神障がい者などの親が要介護者になったときや亡くなったときに、残された障がい者に対するケアや相談体制などに市としてどのように取り組む

のか。

△ 親が元気なうちは自宅で生活するケースが多いが、親の高齢化に伴い、将来への不安が広がっている。このようなケースに対応していくため、地域生活支援拠点を整備していく方向性である。地域生活支援拠点とはハードを意味するものでなく、体験的なグループホームの利用や親が元気なうちから福祉サービス事業所と顔の見える関係を作っておくことなどに取り組んでいくこととしている。本市としては、これらの課題に対し、地域の福祉事業所と協議を進めることとしている。

○ 障がい者の 8050 問題に対して、地域の人が大きな不安を感じている。いざという時のために、しっかり対応できるよう取り組んでほしい。

△ 同様の内容の悩みを抱えている親が多いことから、残された障がい者を社会全体で支えていける体制を築き上げることが目標であり、実現に向けて取り組みを進めたい。

### 【第 3 期高岡市地域福祉計画について】

○ 社会福祉協議会が計画する地域福祉活動計画と連動して進めていくという流れがある。どのような連動体制で進めていく考えか。

△ 市の地域福祉計画は、市の福祉施策の総合的な方向性を示す性格がある。一方、社会福祉協議会が作成する活動計画は、地域福祉の推進を目的に取り組む行動計画という位置づけであり、市の計画とは車の両輪の関係であると考えている。同じ方向を向いて取り組んでいきたい。

### 〔消防本部〕

。歳末消防特別警戒・消防出初式・消防艇出初式について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

## 3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

## 4 その他

。次回の常任委員会の開催について

2 月 1 日（月）午前 10 時に開催することが報告された。

〈 委員から次のような質疑等があった。 〉

### 【救急隊員の感染防止対策について】

- コロナ禍における救急隊員の感染防止対策は。
- △ 本市の消防本部の救急隊員はすべての救急出動に対して、感染防護衣、手袋、マスク、ゴーグルまたはフェイスシールドを着用して出動しており、搬送した傷病者があとになって新型コロナウイルスに感染していた場合でも救急隊員が濃厚接触者とならないための感染防止対策を図っている。また、出動した救急隊は、その活動終了後に使用した救急資機材の消毒、あるいは毎朝の勤務交代時には、救急車内の消毒を行うとともに、発熱等がある傷病者を搬送した際は、救急車内の消毒と隊員が着用していた感染防護衣等の交換を行い、感染防止対策の徹底を図っている。さらに、補正予算で措置した発熱がある傷病者を搬送する際の上半身を覆うビニール製のシールドを令和2年11月に配備したほか、陽性患者を搬送する際には、患者の周囲を仕切るための天井から吊り下げるシートを全救急隊に配備したところである。今後も県内、市内の感染状況を見ながら、救急隊員の感染防止対策の徹底を図っていききたい。

### 【医療機関の感染症対策について】

- 新型コロナウイルス感染症対策について、県から医師や看護師の増員を図り、診療や検査体制の強化・確保を促す要請があったが、市民病院や急患医療センターはどのような体制で臨む考えか。
- △ 本院では、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度に入ってからすでに日当直の看護師の配置を増員し、対応している。今後もその体制を堅持し、今後の感染状況にも注意を払いながら、万全の感染症対策を取るため、病院内の体制をさらに点検、強化していききたい。
- △ 急患医療センターでは、年末年始、インフルエンザ等による発熱患者の多発に備え、通常よりも従業者を増員して、診療にあたる予定としている。また、発熱患者と一般患者の動線を区分し、別の診察室を設ける費用を9月補正予算に計上し、環境も整備したところであり、安心して診療を受けていただきたいと考えている。

### 【成年後見制度について】

- 成年後見制度について、呉西地区で成年後見制度を利用している人数を把握しているか。
- △ 令和2年1月に富山家庭裁判所から示された資料によれば、成年後見制度のうち、法定後見、任意後見を利用している人数は793人であった。
- 平成31年4月に開所した「呉西地区成年後見センター」には、成年後見制度の利用に関する相談はどのくらい寄せられているのか。
- △ 令和元年度に呉西地区成年後見センターに寄せられた相談は366件であった。そのうち、利用の相談に関するものが241件あった。また、令和2年度は11月末現在で240件の相談が寄せられている。
- 「呉西地区成年後見センター」の更なる周知を図る必要があるのではないか。
- △ これまで、センターのホームページや令和元年11月に実施した、各市の広報紙へ

の一斉掲載などを行ったほか、相談があった際に制度の利用を検討する可能性の高い、射水市の地域包括支援センター、氷見市の権利擁護分科会、砺波市の介護サービス事業所連絡会などの専門機関の講座や研修会の機会を捉え、周知を行っている。今後も周知に努めたい。

- 市の委託事業として、市民後見人の養成や市民後見人バンクの運営を社会福祉協議会に委ねているが、その成果は。
- △ 令和元年度は、市民後見人の活動者養成ということで、制度の概要などの基礎知識を学ぶ市民後見人養成講座を実施したほか、より実践的な知識や技能を習得する実務研修を実施した。令和元年度には49人が市民後見人バンクに登録されており、活動者の養成につながったことが成果と考えている。
- 成年後見人のマッチングなど、「呉西地区成年後見センター」が担う役割に期待する声も様々あるが、今後の運営方針は。
- △ 令和元年度に、センターとして後見業務が行えるよう手続きを行い、令和2年2月に家庭裁判所から承認を受けた。令和2年度には、家庭裁判所からの依頼を受けた案件が2件あり、後見業務も開始している。引き続き、後見の受任件数を増やしていきたいと考えている。また、人材育成についても、バンク登録された市民後見人のスキルアップを図るため、令和2年度にフォローアップ研修を新たに開催した。今後も、相談から後見まで一貫した支援を行っていきたい。

#### 【手術支援ロボットについて】

- 手術支援ロボット「ダヴィンチ」について、導入から1年経過したが、ダヴィンチによる手術件数は。
- △ 令和元年12月に泌尿器科で初例の手術があり、それ以降、令和2年11月末までの手術件数は43件である。
- 手術件数の内訳は。
- △ 泌尿器科で24件、産婦人科で19件である。
- 損益分岐点を40件程度としていたが、ダヴィンチ手術での収支は。
- △ 令和2年11月までの収支については、黒字である。ただし、機器導入初年度であることから、減価償却費が1年間分費用計算されていないこと、また、保守委託料が1年間無償期間であったことなどが影響している。今後は、ダヴィンチ手術の件数をさらに増やしていく必要があると考えている。
- 新型コロナウイルスによる影響はどの程度あったのか。
- △ 令和2年4月から6月頃は不急の手術を延期する方針を取っており、産婦人科のダヴィンチ手術は見合わせていたため、その間の手術件数が減少した。
- 今後の見通しは。
- △ 新聞等様々な分野において、低侵襲で身体への負担が小さいロボット手術がたびたび取り上げられている。今後さらにそのような手術需要が高まっていくと考えている。本院としては、その需要に応じていくとともに、泌尿器科や産婦人科をはじめ、既存の診療科以外の診療領域拡大を視野に入れて、さらに他院との差別化を図りながら、患者を集められるよう努めたい。

- 保険適用される手術は今後どの程度増える見通しか。
- △ 今のところ具体的な予定は決まっていないが、領域拡大をしたいと考えており、そのように努めたい。

#### 【民間保育園への支援について】

- 民間保育連盟からの要望について、市単独補助金の支援が廃止された後も、民間保育園では市内各地域の未就園児を対象とした子育てサロン等を通じて子育て支援活動をしている。人材不足の中、支援を継続している民間園に補助できないか。
- △ 現在、段階的に削減してきている民間保育園等に対する市単独補助金は、主に人件費、維持管理費、職員管理研修費に対するものである。一方で、管理運営費として国から支給される施設型給付費には、これらに見合うものが含まれており、市単独補助金の趣旨は、国の制度と重複していることから見直すこととした。国の施設型給付費は、年々拡充され、増額傾向であるが、制度上その約4分の1を市も負担することになっており、市としては国の制度の中で、しっかりと民間保育園等を支援しているものと認識している。
- 家庭的に保護の必要な児童を教育・保育している民間園は、保護者が困難を抱え、本来の保育以外のことについて相談を求められる。補助金の支援や関係機関でのサポートの仕組みが作れないか。
- △ 少子化や核家族化、地域内のつながりの希薄化が進み、子育てをする中で、孤立感を抱く人や子育ての経験が乏しいまま親になる人も増えている。こういった保護者に対して、保育士等が有する専門性を活かした支援は必要不可欠となっている。また、国から示されている保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領等においては、保育所等が実際に個別の支援を行う場合には、園だけでなく、市町村など他の機関と連携し、適切な対応を図ることとされている。本市においては、虐待を受けている子どもをはじめとする支援対象児童等の早期発見や適切な保護を図るために、高岡市要保護児童対策地域協議会を設置しており、保育所等を含めた関係機関と連携し、子どもや保護者に寄り添った継続的な支援を実施しているところである。

#### 【男女平等問題処理委員会について】

- 男女平等問題処理委員会の在り方について、ホームページ上にさらにわかりやすく掲載するためにも、苦情等の申出処理状況について、委員長名、審議日時、審議の過程、申出団体名を記載すべきでは。
- △ 男女平等問題処理委員会のホームページについては、従来の掲載の仕方が市民にとってわかりにくいのではないかと考えから内容を見直し、更新したところである。ホームページの掲載内容については、見られた市民が男女平等問題処理委員会にどのようなことが申し出され、どのような処理結果になったのかを理解していただければ良いのではないかと考えから公表する内容を決定したものであり、現在の内容でわかりやすくなっているものと認識している。
- 申し出された市民の方にも確認した上で、公表できるものは公表できないか。

△ ホームページへの掲載は、本市が実施する施策または事業についての情報を適時適切に提供するための有効な方法と考えているが、今回の見直しによって、それが十分果たされているものと考えている。

【地区連絡センターの事務委託について】

○ 事務委託にあたり、人件費等の考え方は。

△ 今年度の職員の賃金等をベースに積算を行い、地域に新たな負担が発生しないようにしていきたいと考えている。

○ 各地域に地域団体を総括する事務局を創設することを目指したいとのことだが、今までと何がどう変わるのか。

△ 担い手不足等により、地域活動の維持が困難になることが予測されているなかで、地域からは、地域活動を維持していくための支援に関する要望をいただいているところである。担い手が不足する大きな要因の一つに、地域活動のリーダー的な立場の方に大きな負担がかかることが挙げられる。一般的に、各地域では、各種団体がそれぞれ独立して活動や活動に伴う事務作業を行っており、これまで地域活動に尽力されて来られた方がリーダーとなった際に事務作業も加わることが、負担の主たる原因と考える。そこで、これまでも、地区連絡センターでは、地域支援の一環として、地域活動の推進を行ってきたところであるが、今後は、地区連絡センターにおいて、各種団体の事務を統括して行う事務局を設置して、事務作業の軽減など、地域活動における負担を軽減していきたい。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（２２名）

|                          |           |                        |           |
|--------------------------|-----------|------------------------|-----------|
| 市民生活部長                   | 梅 崎 幸 弘   | 市民病院長                  | 藪 下 和 久   |
| 市民生活部次長<br>地域安全課長・環境政策室長 | 堺 啓 央     | 市民病院事務局長               | 崎 安 宏     |
| 共創まちづくり課長                | 室 谷 智     | 総務課長<br>栄養管理課長         | 新 田 裕 子   |
| 男女平等・共同参画課長              | 早 苗 伊 紀 子 | 医事課長                   | 長 田 由 美 子 |
| 市民課長                     | 赤 阪 典 子   |                        |           |
| 環境サービス課長                 | 山 本 明 宏   | 消防長                    | 浦 島 章 浩   |
|                          |           | 消防本部次長                 | 山 口 喜 代 治 |
| 福祉保健部長                   | 川 尻 光 浩   | 総務課長<br>高岡・氷見消防広域化準備室長 | 有 澤 智 文   |
| 福祉保健部次長<br>参事            | 笹 島 永 吉   | 警防課長                   | 山 田 安 宏   |
| 社会福祉課長                   | 山 本 真 弘   | 通信指令課長                 | 奈良岡 由多可   |
| 子ども・子育て課長<br>保育・幼稚園室長    | 村 上 彰     |                        |           |
| 高齢介護課長                   | 森 川 朋 子   |                        |           |
| 保険年金課長                   | 徳 市 直 之   |                        |           |
| 健康増進課長                   | 山 本 美 由 紀 |                        |           |
|                          |           |                        |           |
|                          |           |                        |           |
|                          |           |                        |           |
|                          |           |                        |           |